

<金標準、中東、大統領選の不確実性の高まりによるリスクヘッジ・・・>



(出所：オアシス)

中国人民銀行が9月末時点の金保有量は7280万トロイオンスと発表し、9月に金の購入を見送り5ヶ月連続の見送りとなっている。しかし金価格は、中東におけるイスラエルのレバノンのヒズボラに対する攻撃が激しくなり、地政学的なリスクは高まりを見せている。また11月5日の大統領選を控え、トランプ元大統領の当選確率が高まりを見せると、不確実性を嫌ったリスク逃避需要も強まりを見せている。特にトランプ氏、ハリス氏のどちらが大統領になったとしても既に膨大に膨らんでいる財政赤字が拡大する事は避けられず、金利上昇に伴う円安・ドル高の動きは持続する可能性が高く、先週には円安効果を受けて金標準先物は13125円を付けるなど高値追いを続けている。

また中国では、GDPが第3四半期に4.6%となるなど、中国指導部が示す5%へ届いていない事を考慮すると更なる景気刺激策を進める可能性は高まると思え、リスクオンに伴う投機需要も重なる様であれば更なる高値を試してもおかしくないと思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが切り上げ、シグナルも切り上げている。RCIでは短期が上昇し、長期も維持している。ただMACDやRCIのオシレーターは非常に高い水準まで届いており、10日移動平均線へ向けた修正の動きには注意が必要と思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,368,000 円(2024 年 10 月 21 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2024 年 10 月 21 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>